

海上の森自然環境保全地域維持管理事業について

1 シデコブシの保護

海上の森のシデコブシは、周辺樹木の生育が進んだことにより日照不足となるなど、開花や結実が行われにくくなり、その生育が懸念されていた。

そこで、平成 19 年度から一部区域（屋戸川・寺山川野生動植物保護地区）において、試験的に除間伐を実施し、その効果について検証している。（名古屋大学へ調査委託）平成 23 年度についても継続的に効果を検証する予定である。

2 スミレサイシンの保護

スミレサイシンの生育地（四ツ沢北東部野生動植物保護地区）において、平成 21 年度に二次林内に侵入し、荒れた竹林について、除伐等を行った。

その結果、日照が良くなり、チヂミザサ等の雑草が繁茂してしまったため、海上の森の会と協働して除草作業を行った（2010 年 9 月 7 日）。

今後も経過を見ながら、順応的な管理に努める予定である。

3 湿地の保全

屋戸川流域の湿地について、遷移が進み、貧栄養湿地としての特性が失われるおそれがあったため、海上の森の会と協働してアシやヌマガヤなどの枯れ草を整理した（2011 年 1 月 13 日）。

今後も経過を見ながら、順応的な管理に努める予定である。

